

茂木町地域公共交通協議会

平成20年4月1日設置



茂木町役場環境課内

概要

茂木町は面積172㎢で、南北の距離は27kmと広い土地であり、山林が町面積の70%を占めている。

町内を走る公共交通は町営バス、へき地患者輸送バス(無償)、スクールバスとJRバス(JR)、真岡鉄道があり、特に山間部と市街部を結ぶ町営バスは高齢者の通院や一部小・中学生の通学の足として重要な交通手段であるが、一方で人口減少により、年々バス利用者数が右肩下がりの傾向にあり、県及び町で補助しながらも維持しなければならない状況にある。

〇地域公共交通の現況

本町の公共交通機関は第三セクターの鉄道と宇都宮市を結ぶJRバス、タクシーの他、町営バス6路線と各路線の空白地帯を運行する患者輸送バス、スクールバスがあり、通院、通学等の交通手段として欠かせないものとなっているが、利用者(人口)が減少傾向にあり、年々県及び町からの補助額が増加し、維持・継続が困難となっており、町に見合った公共交通全体の見直しが必要とされている。

〇調査の主な内容

現況公共交通の特性・課題分析

- ・鉄道・バスの現況特性分析
- ・利用者・需要分布の現況特性分析
- ・現況ネットワークの課題分析

〇地域公共交通総合連携計画の策定

- ・町営バス(自家用有償バス)の運行について、環境に配慮し、更に利用者の実情にあった仕組みの構築
- ・地域の活性化につながるための交通形態の仕組みづくり

